

ミヤマタニソバ

Persicaria debilis (Meisn.) H.Gross ex W.T.Lee

タデ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では生育地がきわめて限定されており、個体数もきわめて少ない。(現況:RO)

形態

茎は直立して無毛であるが、節部には下向き刺毛がある。葉は薄く、3角形で先は鋭尖形、基部は切形、表面にハの字形の紫斑がある。細長い葉柄をもつ。花は枝先に2~5個集まって着く。

国内分布

本州~九州に分布する。

県内分布

南加賀区のブナクラス域にただ1ヶ所のみ、現在分布する。

生態など

高さ20~30cmになる一年生草本である。開花期は7月~10月。花色は白色である。茎の下部は横に伏し、節から根を出す。果実は瘦果で光沢がある。

生育環境

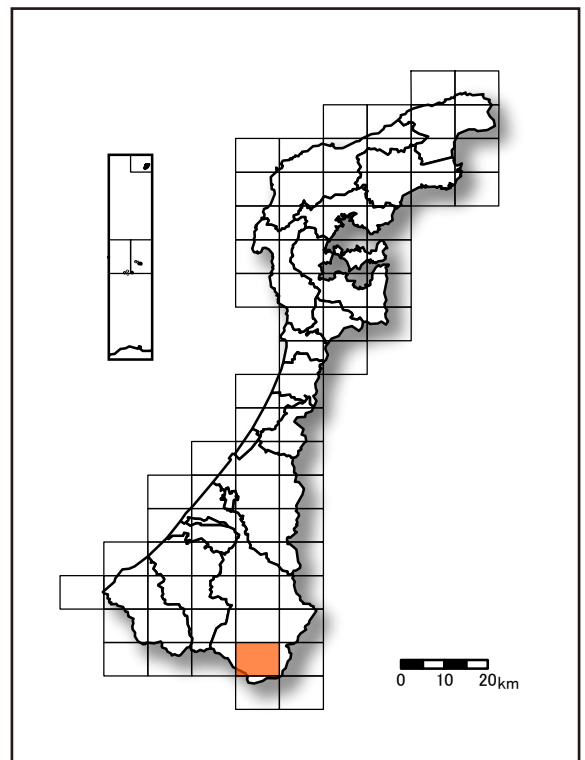
山地の樹林下の陰地に生える。

危険要因

森林伐採、道路工事。



太田道人



県内の分布